

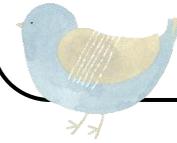
# つみきのくらし

NO.12

## 段ボール創作に夢中になる

日々の暮らしの中で、こども園つみきとして大切にしたいことや、こどもとおとなの素敵な姿をお伝えしていきます。

井鳥 佳織



「段ボールで家をつくろう」と始まったきりん組のある朝。家の壁を組み立てている人たちの隣で、壁を作りながら「小さい家をつくってみたい」とひらめきを感じた人が、小さい家を作り始めました。「素敵だな！」と感じたのは、周囲がその人の「小さな家づくり」を尊重した気持ちです。もしかしたら、「勝手にみんなと違う物をつくり始めた」ということになったかもしれません。しかし、小さな家作りに「いいね！」と感じた人たちが次々と加わっていました。そして、「大きな家」は壁に色を塗ったり、屋根をつけたり可能性に満ちた遊びとなっていました。「小さな家」は新たなひらめきが加わり、試したり工夫しながら海賊船に進化していきました。今回、互いの思いや考えを共有したり、考えたり工夫しながら協同する人たちの姿に、私は大きな成長を感じることができて嬉しく思いました。



「壁は青にしたい」「虹色にしたい」→「分けて塗ろう!」「屋根はレンガにするから色を変えよう」



↑ ↓ 「大きな家」の壁を作っています。



← 「僕には小さい・・・」→ 「小さい子なら入るかな？」とうさぎ組の子を連れてきて大きさを試しました。箱に段ボールを重ねたら、船の形に見えたそうです。



「家と船」ホールロフトの隣に移動しました!ぜひ、のぞいてみてください。

段ボール素材のナオキスリッパ。

沢山の知恵が集まって、望遠鏡や海賊マークがついたり、宝の地図を作る人もいました。

## 『不適切な保育』について話し合いを行いました。

今、様々なニュースで取り上げられている『不適切な保育』は、果たして他園の出来事なのだろうか・・・自分たちは『ちゃんとやっているつもりでいる』のではないだろうか？つみきでは、月に1～2回様々な視点での保育研修を行っていますが、今回この話題を取り上げ「自分たちの保育はどうだろう」と客観的に振り返り、「人権」「子どもを尊重する保育」をはじめ「つみきのくらし」について考え、明日から、これからに向けて大切なことを再確認しました。こどももおとなも安心できる、安心し合える心持ちでくらししていきたいと考えています。